

信州大学医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年 2月 1日

「顎口腔領域における粘液腫・粘液線維腫の線維成分による鑑別と臨床統計解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6411
研究課題名	顎口腔領域における粘液腫・粘液線維腫の線維成分による鑑別と臨床統計解析
所属(診療科等)	特殊歯科・口腔外科
研究責任者(職名)	栗田 浩(教授)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年5月16日
研究の意義、目的	臨床的意義の相違や、鑑別の重要性、再発を含めた予後因子について検討する事。
対象となる方	2003年1月1日から2022年12月31日の20年間に信州大学医学部附属病院において粘液腫あるいは粘液線維腫と診断され治療がなされた方。
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／組織など
他機関への試料・情報の提供方法	郵送・パスワードをつけた電子メール等により提供します
研究方法	該当患者の検体の未染色薄切(4 μm)標本を東京科学大学口腔病理学分野において、HE染色およびマッソントリクローム染色を行い、それぞれの標本の代表切片の線維成分の占める割合を統計解析を行う。
共同研究機関名	1. 北海道大学 口腔内科 助教(坂田 健一郎) 2. 筑波大学 歯科口腔外科 教授(武川 寛樹) 3. 埼玉県立がんセンター 歯科口腔外科 科長(八木原 一博) 4. 東京大学 口腔顎顔面外科・矯正歯科 教授(星 和人) 5. 亀田総合病院 歯科口腔外科 医長代理(森 清鷹) 6. 高知大学 歯科口腔外科 教授(山本 哲也) 7. 広島大学 口腔腫瘍制御学 講師(小泉 浩一) 8. 大分赤十字病院 口腔外科 副部長(平井 英治) 9. 東邦大学 口腔外科 准教授(関谷 秀樹) 10. 名古屋大学 顎顔面外科 教授(日比 英晴)

	11. 横浜市立大学 歯科・口腔外科・矯正歯科 助教(矢島 康治) 12. 静岡県立総合病院 歯科口腔外科 部長(足立 守安) 13. 東北大学 顎顔面口腔腫瘍外科学 講師(瀬瀬 衆) 14. 新潟大学 口腔病理 教授(田沼 順一) 15. 九州大学 顎口腔腫瘍制御学 教授(川野 真太郎) 16. 久留米大学 歯科口腔医療センター 准教授(中村 守厳) 17. 大阪歯科大学 口腔外科 教授(竹信 俊彦) 18. 千葉大学 口腔科 教授(鶴澤 一弘) 19. 自治医科大学 歯科口腔外科 教授(野口 忠秀) 20. 徳島大学 口腔外科 講師(高丸 菜都美) 21. 奈良県立医科大学 口腔外科 講師(柳生 貴裕) 22. 日本歯科大学 口腔外科 教授(里見 貴史) 23. 近畿大学 歯科口腔外科 講師(下出 孟史) 24. 荏原病院 歯科口腔外科 医長(富江 華織) 25. 昭和大学 顎顔面口腔外科 准教授(大場 誠悟) 26. 信州大学 歯科口腔外科 教授(栗田 浩) 27. 佐賀大学 歯科口腔外科 教授(山下 佳雄) 28. 長崎大学 口腔顎顔面外科 講師(鳴瀬 智史) 29. 岡山大学 口腔顎顔面外科 助教(國定 勇希) 30. 鶴見大学 口腔顎顔面外科 助教(江口 貴紀) 31. 神奈川歯科大学 口腔外科 教授(安部 貴大) 32. 足利赤十字病院 歯科口腔外科 部長(柚木 泰広) 33. 慶應義塾大学 口腔外科 専任講師(筋生田 整治) 34. 静岡市立静岡病院 口腔外科 科長(大山 厳雄) 35. 武蔵野赤十字病院 歯科口腔外科 部長(島本 裕彰) 36. 山形大学 歯科口腔外科 助教(粕谷 賢志)
研究代表者	主任施設の名称:東京科学大学 顎顔面外科学分野 研究責任者:原園 陽介
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 酒井洋徳(信州大学医学部附属病院 特殊歯科口腔外科 講師) 電話:0263-37-2796

【既存の検体や診療記録】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である東京科学大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場

合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。